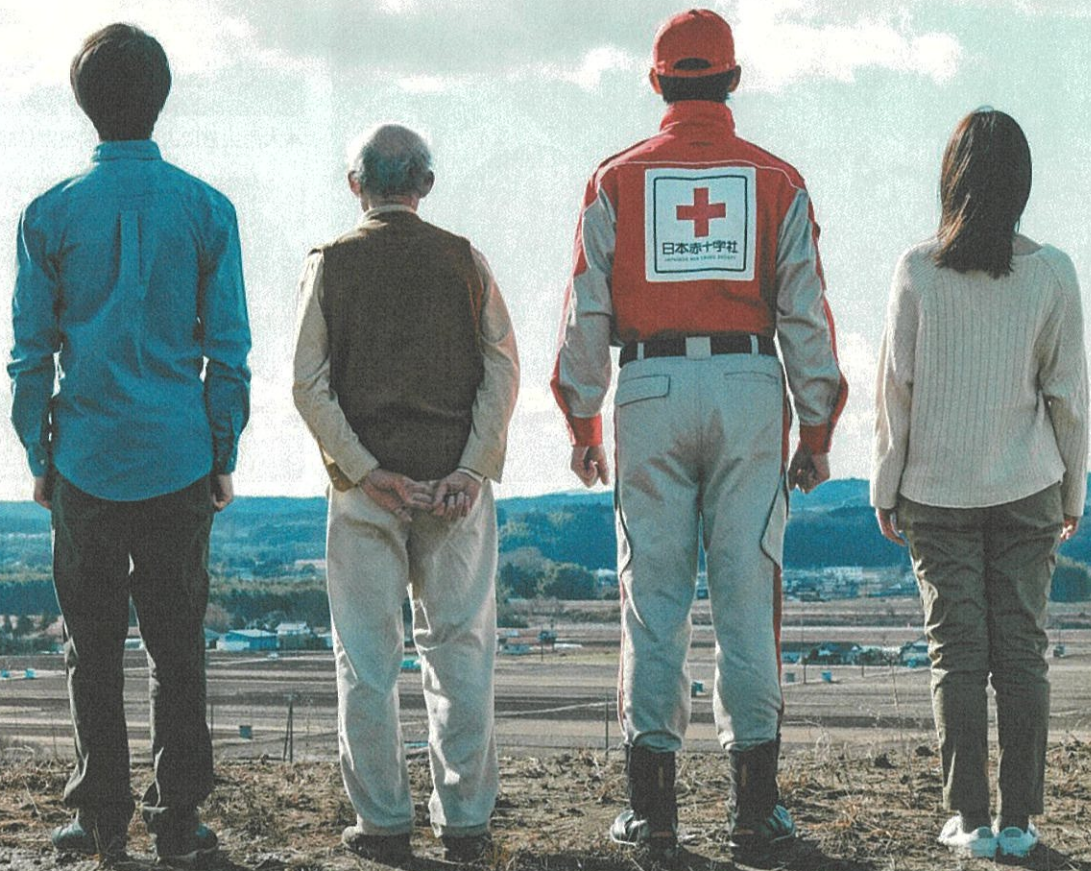


危機を前に、人は弱い。
でも、
危機を前に、人は強い。

災害や感染症の脅威が防れた時。
人は不安になる。恐怖に怯える。
けれど、人は励まし合い、前に進むことができる。
私たちは知っています。
大切な人を守ろうとする姿を。
災害に立ち向かおうとする人たちの強さを。
そんな思いに応えて、ともに乗り越えていくために。
災害の現場で、赤十字の医師・看護師・ボランティアが活動をつづけます。
——— 救いを託されている。あなたとともに。



救いを託されている。→

活動資金へのご協力を、よろしく願いたします。
赤十字運動月間 5.1(Sun)~31(Tue)

寄附するあなたも赤十字です 赤十字 寄付



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

苦しむ人々を、救い続ける

✓ 国内救護活動

令和3年度の主な災害

- 4月 大規模火災 (島根県)
- 7月 大雨災害 (静岡県など)
- 8月 大雨災害 (福岡県など)
- 8月 台風大雨災害 (青森県)
- 9月 土石流災害 (長野県)

日本赤十字社は、災害で苦しむ人々を支援するため、全社を挙げて救護活動に取り組み、昼夜を問わず被災者に寄り添い、救う活動を続けました。

こうした活動はすべて、皆さま方から寄せられた活動資金(寄付)により支えられています。

これからも、日本赤十字社が災害や紛争で苦しむ人々を救い続けるため、皆さまのご支援を必要としています。



▲避難者の健康相談を行う日赤職員



▲大雨災害による甚大な被害(熱海市)



▲救援物資を搬送する日赤職員

✓ 献血事業

日本赤十字社は、血液を提供していただける方(献血者)を募集し、24時間体制で全国の医療機関にお届けしています。献血は不要不急にはあたりません。

ぜひ献血にご協力をお願いします。



▲献血ルームでの協力者

✓ 救急法等の普及活動

赤十字の講習は、自分自身はもちろん、「人のいのちと健康、尊厳を守る」知識や技術を伝えています。

コロナ禍においても、感染防止等の対策を講じて、各講習を実施しています。



▲オンラインで救急法講習を受ける親子

感染症まん延下でも、「救う」を続けます

✔ コロナ禍での活動

全国の赤十字病院は、感染患者の受入、PCRセンターの開設、病院を会場としたワクチン接種を行うなど、総力を挙げて対応しています。

茨城県支部ではコロナ禍でも災害救護を柱として、看護師の養成、救急法等の講習、ボランティアの養成、青少年赤十字の育成、国際支援活動など「ひとを救う」ための活動を続けています。



▲新型コロナウイルス感染者に対応する医療スタッフ

寄付者さまの声



丸山様 (活動資金協力者)

私は高校在学中、JRC(青少年赤十字)部に入部していました。人のためにできることをしてみたいとずっと思っていたので、古紙回収で市に車椅子を寄贈したり、筑波山の清掃活動をしたり、活動を通してさまざまな人たちと交流が持てたことは貴重な経験でした。

赤十字への寄付は、大学1年生の春に、赤十字のパンフレットに入っていた案内をきっかけに始めました。今は感染症対策のために外出を控えていて、アルバイトなどできないけれど、高校時代からの赤十字とのご縁を持ち続けたいという気持ちで、これまでにためたお小遣いから少額ずつですが寄付を続けています。

ご支援(ご寄付)の方法

町内会・自治会を通じたご協力のほか、ご都合にあった方法で受付けております。

クレジットカードで寄付

Webサイトからの登録により、クレジットカードでのご寄付いただけます。



郵便局・銀行の口座への寄付

日本赤十字社ではゆうちょ銀行や常陽銀行の寄付専用口座を開設しております。



郵便局・銀行の口座振替で寄付

ご希望の口座から自動引き落としでのご寄付いただけます。



日赤茨城県支部窓口で寄付

日本赤十字社茨城県支部窓口、お住まいの市町村窓口でも、ご寄付いただけます。

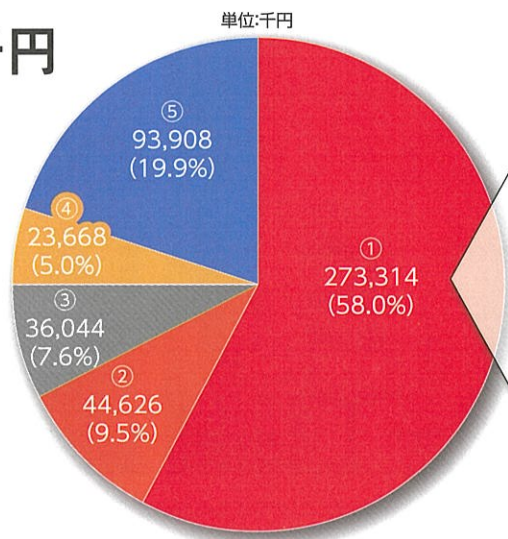


令和4年度 茨城県支部 活動資金(寄付)の使いみち

赤十字の活動は、皆さま方の支援(寄付)で支えられています

総額 **471,560千円**

- ① いのちと健康を守る活動のため
- ② 災害救護関連施設等の維持管理のため
- ③ 活動資金募集のため
- ④ 活動報告や情報発信のため
- ⑤ 活動運営管理のため(国内の災害対応を含む)



- ①のちと健康を守る活動の内訳
- ◆ 災害救護活動と救護体制の強化等 ⇒85,319千円
 - ◆ 市町村の赤十字活動(地域ボランティアの活動など) ⇒61,000千円
 - ◆ 全国的な赤十字活動(海外の紛争・災害への対応を含む) ⇒53,910千円
 - ◆ 青少年赤十字・ボランティアの養成 ⇒34,698千円
 - ◆ 健康・安全のための知識と技術の普及 ⇒32,578千円
 - ◆ 看護師の養成 ⇒3,758千円
 - ◆ 国際支援活動 ⇒2,051千円

あなたの支援で実現する活動



感染症防護具
約2人分



緊急セット
1セット4人分



心肺蘇生トレーニングキット
6人分

表彰制度・税制上の優遇措置のご案内

✓ 表彰制度

赤十字活動資金に多額のご協力をいただいた方に、日赤や国からの表彰のご案内をしております。

✓ 税制上の優遇措置

日本赤十字社へのご寄付は確定申告することで個人の所得税や企業の法人税の優遇措置を受けられます。

遺贈・相続財産で社会貢献

近年、「自分が築いた財産を社会のために役立ててほしい」、「故人の遺産を社会に役立ててほしい」といったお申し出が増えています。

日本赤十字社茨城県支部では、このような尊い思いに応えるために遺贈(遺言による寄付)、相続財産寄付を承っております。お気軽にご連絡ください。(連絡先:日本赤十字社茨城県支部組織振興課029-241-4516)